

## 福島第一原子力発電所現地確認報告書

### 1 確認日

令和8年6月4日（木）

### 2 確認箇所

J7タンクエリア、H8タンクエリア、H1タンクエリア及びDタンクエリア周辺（図1）

### 3 確認項目

処理途上水移送配管設置工事の状況

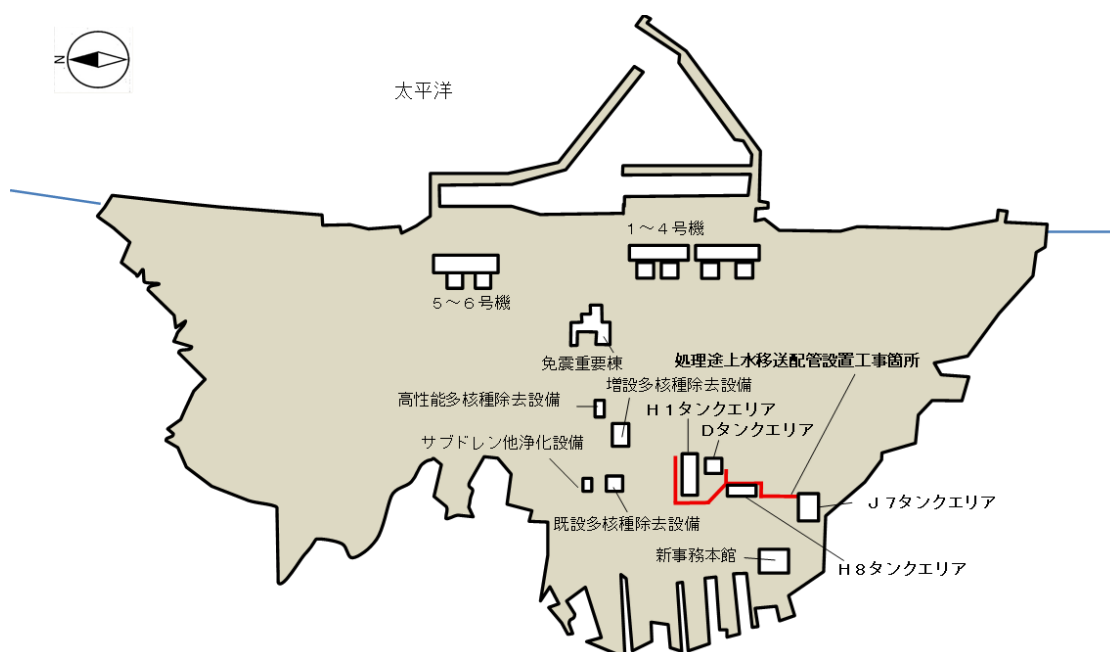
### 4 確認結果の概要

東京電力では、汚染水対策として、多核種除去設備等で処理した水（以下「ALPS処理水等」という。）について、ALPS処理水貯留タンクに貯留している。このうち、約7割は国が定める放出基準値を超過している水（以下「処理途上水<sup>※1</sup>」という。）であり、多核種除去設備等で二次処理する必要がある。

現在、東京電力では、処理途上水の二次処理を安定的に実施するため、処理途上水を移送する配管（以下「処理途上水移送配管」という。）の設置工事を2期に分けて実施している。今回、1期工事における処理途上水移送配管の設置作業が完了したことから、その状況を確認した。（前回確認日：令和8年3月19日）

- ・1期工事において設置された処理途上水移送配管を確認したところ、配管及び支持架台に破損等の異常は認められなかった。（写真1）
- ・処理途上水移送配管が道路を横断する場所には、U字溝内部に配管を敷設することで車両の通行に干渉しないような措置が講じられていた。（写真2）

※1 福島第一原子力発電所で発生した汚染水をALPS等で処理した水のうち、トリチウムを除く放射性核種の告示濃度比総和が1以上の水。



(図 1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真 1 ①) J 7 タンクエリアに設置された配管  
※白い布で覆われている配管が新設された配管



(写真 1 ②) H 8 タンク内における配管の設置状況



(写真 1 ③) 配管の分岐地点



(写真 1 ④) H 1 タンク北側における配管の設置状況



(写真1⑤) H1タンク内における  
配管の設置状況  
※末端部



(写真1⑥) Dタンク南側における  
配管の設置状況  
※末端部



(写真2①) 移送配管の道路横断箇  
所の設置状況



(写真2②) U字溝のグレーチング  
の状況

- 5 プラント関連パラメータ等確認について  
確認したデータについて、異常値は確認されなかった。